

ペットにも年に1回の健康診断を。

みなさんは、会社や自治体などのサービスを通じて、1年に1回の健康診断を受けていることと思います。では、家族の一員であるペットはどうでしょう？この機会に、ペットの健康診断を考えてみませんか？

犬の加齢速度は人間の5倍以上。

近年長くなる傾向にある犬や猫の平均寿命。それを小型犬で15年と仮定した場合、人間の年齢に換算すると76歳（大型犬なら100歳以上）。犬は、実に人間の5倍以上の速さで年老いていくことが分かります。

ペットの体内には1年で大きな変化が。

加齢速度が速いペットは、年に1回の健康診断でも、体中の大きな変化が見つかることがあるのです。お知り合いの方から、健康診断で病気が見つかったり、その治療を早く始めてよかったという声を聞くことはありませんか？

まずは獣医師に健康診断の相談を。

このリーフレットには、ペットにも健康診断が必要なこと、また、それによってどんな病気が見つかるかなどについてご説明しています。ご一読の上、分からないことや詳しいご相談は、獣医師までお問い合わせください。

ペットと楽しく長くお付き合いされるためにも、**健康診断をおすすめします。**

健康診断の前の準備

- 健康診断前日の夜9時以降のお食事は与えないでください。検査に影響が出ることがあります。お水は与えてもかまいませんが、当日の朝は少量にしてください。
- 健康診断の当日に、尿検査・糞便検査に使用するための、尿・糞便をお持ちください。

健康診断実施日

年	月	日
---	---	---

次回健康診断予定日

年	月	日
---	---	---

病院名

--



1年に1回が
長生きのコツ。

健康診断の おすすめ



健康診断の内容と分かること

一般身体検査

内容

聴診（心臓の音、呼吸器の音、消化器の音）
体温、体重測定
姿勢、歩き方、関節の状態
目、耳、鼻、のど、歯、皮膚、リンパ節なども確認します。
同時に日々気になることなどを獣医師、看護師に直接ご相談できる機会でもあります。

分かること

ペットの総合的な体の状態

レントゲン検査

内容

胸部、腹部のレントゲン撮影による検査

分かること

腫瘍、異物や臓器の変化など外側から見ることでできない体の中の異常を発見できます。

心電図検査

内容

心臓の活動電位の測定

分かること

聴診などでもわからない心拍の不整など心臓の異常が分かります。

超音波検査

内容

超音波検査の機械を用いて検査を行います。

分かること

レントゲンでわかりにくい、臓器の形の異常、腫瘍の発見・確認ができます。

尿検査

内容

尿を試験紙、尿比重計、または顕微鏡で検査、確認

分かること

尿に含まれる糖、蛋白、ケトン、潜血、ビリルビンや、pH、比重、色調などの異常があればそれを引き起こしている病気の推定になります。さらに顕微鏡により尿に含まれる成分も調べ、異常を発見します。

検便（寄生虫と寄生虫卵）

内容

糞便検査での寄生虫、その卵の有無

分かること

寄生虫の感染の有無

ホルモン検査

内容

血液中のホルモンの値（T4、TSH、コルチゾールなど）を測定します。

分かること

ホルモン異常によって引き起こされる病気の診断に役立ちます。（犬甲状腺機能低下症、猫甲状腺機能亢進症、クッシング病など）

血液検査

内容

血液に含まれる成分の検査により異常が無いかを確認します。

分かること

糖尿病、肝臓病、腎臓病など見た目では分からないような病気の有無



●年代によって、おすすめの健康診断内容が変わります。

年代	一般身体検査	尿検査	検便	血液検査	レントゲン検査	ホルモン検査（T4など）
子犬、子猫	●	●	●	●		
成犬、成猫	●	●	●	●	●	
シニア*	●	●	●	●	●	●

*シニアのわんちゃん、ねこちゃんには、上記に加え、さらに心電図検査、超音波検査をおすすめします。